

第4回 高山駅周辺地区まちづくり協議会

日 時 平成 18 年 10 月 31 日 (13:30~15:30)

場 所 高山市文化伝承館

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

報告事項

- 高山駅利用状況調査結果
- 高山駅の利用状況を踏まえた計画の検討結果
- 質疑応答
- 今後の進め方について

4. 閉会

質疑応答

- 委員： 駅利用状況調査について
- ・ 高校生の駅利用状況調査はどのように行ったのか。
- 事務局： 飛騨の高等学校の校長会にお願いして、アンケート調査を実施した。
- ※ 高山駅を利用する高校生全員にアンケート調査した。
- 委員： 駅舎が橋上駅になった場合（高校生）はどこで列車を待つのか。
- （自由通路で列車を待つのか。）
- 事務局： 駅舎が橋上駅となっても、すべてを橋上（線路上）へ持って行くのではない。駅東側には駅舎用地もあり、その部分などに駅舎の「待合い」を整備するような考え方もできる。
- 会長： 高山駅の乗降客 3,700 人/日（H17 年度）は J R の数字か。
- 事務局： はい。
- 会長： 今日の説明を聞くと、高山駅は橋上駅のタイプが望ましいと思う。
- しかし、J R がどのように考えているかである。
- ※ 一日の乗降客数が 3,700 人/日では交通バリアフリー法の基準である 5,000 人/日以上の乗降客数にも達していない。
- だが、
- J R としても、観光地である高山市（高山駅）を高く評価している。
- 次の点を考え J R と交渉してほしい。
- ・ 高山市は観光客が増えている。 ※ 団塊の世代が旅行をするようになる。（今後もあまり減ることはないだろう。）
 - ・ 外国からの観光客が増えている。（中国からの観光客が増えている。）
 - ・ 将来は、このような人が駅を利用するようになる。
- ※ そのため、今後はバリアフリー（ユニバーサル）的なデザインが必要となる。
- 委員： （駅の）自由通路を歩いても何も無い。
- 自由通路・駅に多機能を持たせた方がよい。
- （黙っていると本当に通路だけになってしまう。）
- 事務局： 高山駅には、交番・駐輪場・観光案内所等がある。
- 「観光案内所は改札の前に設置したいと考えている。」
- 事務局： 自由通路は市が管理しないといけない。
- また、駅舎は J R の管理となる。この点を整理して考えて下さい。
- 会長： 同じ J R でも、J R 東海と J R 東日本とはだいぶ違う。
- 例 J R 東日本は自由通路を都市計画道路として整備している。
- しかし、J R 東海では、自由通路を都市計画道路としていない。
- また、

自由通路・駅に商業空間を設置した場合は、自由通路・駅の中の商業空間と、駅周辺の商業空間との折り合いをどうするかとの問題がある。

会長： 改札の位置が必ず（線路の）上にある必要はないと思う。

「自由通路の東西の入り口に、改札を設置する方法もある。」

委員： はじめ（自由通路の構想が持ち上がったとき）は、自由通路の両側に改札を付けた方が良いとの話もあった。

会長： 高山駅の乗降客を先ほど聞いたが。

J Rからピーク時の乗降客数についても聞くこと。

※ 協議会では回答していないが、

ピーク時乗降客数はH16.10.10で6,800人/日です。

事務局： 自由通路は駅利用者ばかりではなく、通過する人も考えなくては行けない。（自由通路の入口に改札を付けると、駅の東西に移動「通過」する人をどうするかとの問題がある。）

委員： J R貨物はどうか？

「J R貨物がどうかもしっかり押さえておく。」

事務局： 改札を自由通路の両側に設置する件ですが、J Rは改札を1箇所と考えています。（高山駅で改札を2箇所に設置することはありません。）

委員： （駅舎・自由通路の）規模はこのような協議会で決められるのか。

事務局： 駅舎・自由通路の規模はJ Rとの協議となります。

「J Rの意見が加わってきます。」

委員： どのような駅舎・自由通路になるのか。

事務局： 一番最初は、古めかしい駅舎をデザインしている。

委員： 高山駅は岐阜駅のように機能ばかりでなく、高山市の駅だと感じられるような駅にする必要がある。

会長： 駅舎・自由通路については、「みんなの意見を聞いて」それをJ Rに対して出してゆく。

※ J Rに対して高山市の意見をしっかり出してゆく。

委員： 自由通路は市が造るんだから、例えば市が純和風の自由通路を造れば、J Rの自由通路に合わせた駅舎を造ると思う。

委員： 新高山市が50年～100年後を考えて、どのような駅を必要としているか考えなくてはいけない。（楽しめる駅など）

委員： NPO法人等の情報を発信できるような駅舎が良い。

例. 駅にサロンのようなコーナーか、パンフの設置できるスペースを作れば、そこでNPO法人等のいろいろな情報を発信できる。

その情報を観光客の方が広げてくれる。

委員：高山駅にそのような機能を持たせるとしても、NPOだけを選定することはできない。

観光協会等も含めて考えなくてはいけない。

(観光案内所にパンフを設置することは可能と考える。)

会長：高山市として、このような自由通路・駅舎を建設してほしいと言うことを計画し、JRに対して出す必要がある。

会長：駅舎のタイプは橋上駅として。

・デザインは和風か洋風か。

・どのような機能を望むのか。

※高山市としてどのような自由通路・駅舎を望むのか。

事務局：前までは、地平駅で計画していた。

今は、地平駅を橋上駅に変更するようにして進めている。

「みなさんにもバックアップしてほしい。」

※委員が同意する。

委員：(デザインについて)

和にするか、洋にするか。

(古い町並や陣屋)と比べると、どんな和風の駅舎を造っても負ける。

「京都駅のように新しいイメージで駅舎を建設した方がよい。」

※JRに頼むとあたりまえの駅になる。

委員：賛成。

(どこかの駅の)コピーになってしまう。

自由通路・駅舎のデザインは、なんとなく似通ったデザインではなく。

新しいものを入れたデザインが良い。

「新しくてシンプルなデザイン」

委員：高山市の玄関口として駅がどうあるべきかと言うことではないか。

(駅と駅周辺の建物との関係)

高山駅を橋上駅として整備しても、駅は東に向いているため、駅西が裏のようになってしまう。

「駅西から見ても、駅裏と感ないデザインを考える。」

(平面図のレイアウトでは、駅西から見ると自由通路の壁が見えるだけである。)

※駅西のデザインをいろいろ工夫して使いやすく考えたほうがよい。

委員：(自由通路・駅舎・駅前広場を計画するために)車イスの方とかと一緒に現地を歩くようにして頂きたい。

「机上だけで計画しないでほしい。」

事務局 : そのような調査は企画課で実施しています。
「自由通路・駅舎・駅前広場の計画には、企画課で行った調査結果も活かして計画したいと考えています。」

会長 : それでは、「第5回のまちづくり協議会」ではどのような内容を協議するのか。

事務局 : 駅前広場のレイアウト及び歩行者動線、車両動線、自由通路の幅、位置などです。

事務局 : 違うだろ、車は広小路通り交差点から入ってくるんだろ。

事務局 : そのような内容を含め今後検討したいと考えています。

委員 : 駅舎も含めてやってほしい。

また、自由通路を自転車が通れるのか。通る場合はどのようにして通るのか。
(引いて通る等)

会長 : 駅西広場についても資料を作ること。

委員 : 観光バスの流れについても考慮し計画を作成すること。

「R41号からの観光バスの流れを入れて検討する。」

会長 : 観光バスをどのように誘導するのか、

マイクロバスをどうするのか検討する必要がある。

事務局 : 現在、R41号までの道路整備を行っている。これを含め検討してほしい。

また、駅東側の歩行者動線は、歴道への流れより広小路通りの方が多。この点についても十分に検討すること。

事務局 : 本日は貴重な意見をありがとうございました。

(次回の「第5回まちづくり協議会」では、事務局で(案)を作成して諮らせて頂きたいと思います。)

委員会が終わった後、

委員 : 「京都駅は外国人には評判が悪い。」との意見もあります。

また、

駅東・駅西(広場)で安全性には差を付けないでほしい。

駅西が駅の裏であれば、裏の顔を作れば良いと思う。

(そのような考え方をお願いしたい。)